

み ら い  
代 表 質 問

議会事務局  
処 理 欄

令和4年11月17日10時40分 受付

質 問 順 位 第 2 番

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 櫻井 雅美

### 一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和4年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. コミュニティ・スクール制度導入について	<b>【趣旨説明】</b> 平成29年4月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、各市町の教育委員会において設置が努力義務とされてから5年が経過しました。 令和2年12月議会ではコミュニティ・スクールの設置について、地域とともにある学校づくりを図るための手段の一つと認識しており、他市町の動向を含め、引き続き調査研究を行っていきたいと考えております。という答弁をいただきました。 そこで以下質問します。
	<b>【質問事項】</b> ① 知多半島内のコミュニティ・スクール制度導入状況は。 ② 2年間の調査研究の進捗状況は。
2. 小中学校 SNS 学校連絡システム導入について	<b>【趣旨説明】</b> 来年度より保育園では ICT システムの導入によって、保護者と連絡にはアプリケーションを使用します。 そこで以下質問します。
	<b>【質問事項】</b> ① 小中学校への SNS 学校連絡システム導入についての検討はされていますか。
3. 就学前のこどもの育ちについて	<b>【趣旨説明】</b> 内閣官房こども家庭庁設立準備室は10月13日、「就学前のこどもの育ちに係る基本的な指針」に関して以下のように発表しました。 全ての人で共有したい5つの基本理念として、①安心・安全の確保が第一に優先されている②子どもの意思が聴かれ、主体性が大事にされる③どこに居ても教育・保育の質が保障されている④特性や背景は、多様性として尊重されている⑤家庭も、保育者らも、地域の人も、自治体や国も、全ての人がこの指針を共有し育ちを保障していることを挙げました。 会議においては、多様性やインクルーシブについて「子どもが真ん中になるために、親の不安を払しょくするような場が必要ではないか」という意見が共有されました。また、「誰も傷つけることなく、子どもの主体を認め、全ての子どもの可能性を伸ばしていくということを、どのように分かりやすく、全てを網羅しながら指針に描いていくのか。さらに考えていきたい」と締めくくられました。 そこで以下質問します。
	<b>【質問事項】</b> ① 保育園の入園受付条件において、障がいの有無はありますか。 ② 本町では障害児保育を可能としていますが条件はありますか。 ③ 本町の保育園に通う園児は、小学校と連携し情報共有していますが、町外の療育施設に通っている園児にはどのような対応となっていますか。